取付についてのご注意

下記雰囲気でのご使用は避けて下さい

アクチュエータ

(1)ゴミ、ほこりが多い場所や、切粉が入りそうな場所。
(2)周囲温度が5～40℃の範囲を越える場所。
(3)周囲湿度が10～90%の範囲を越える場所。
(4)腐食性ガス、可燃性ガスの生じる場所。
(5)強電界、強磁界の発生する場所。
(6)本体に直接振動や衝撃が伝わるような場所。
(7)装置運転中にアクチュエータテーブル稼動範囲内には立ち入らないで下さい。

コントローラ

(1)周囲温度が5～50℃の範囲を越える場所。
(LC1－1B3H1は、5～40℃です。)
(2)周囲湿度が10～90%の範囲を越える場所。
(3)急激な温度変化で結露が生じる場所。
(4)腐食性ガス、可燃性ガスの生じる場所。
(5)塵埃、鉄粉等の導電性のある粉末、オイルミスト、塩分、有機溶剤が多い場所。
(6)直射日光があたる場所。
(7)強電界、強磁界の発生する場所。
(8)本体に直接振動や衝撃が伝わるような場所。

電源について

(1)電圧変動が規定値(AC100/110±10%　50/60Hz)以上に大きい場合は定電圧トランスを接続して下さい。
(2)線間および大地間ともノイズの少ない電源として下さい。ノイズの多い場合は絶縁トランスを接続して下さい。
(3)コントローラの電源と汎用入出力および制御端子のインターフェース電源(DC24V)は系統を分離して配線を行って下さい。
(4)AC100V線、DC24V線は電圧降下を少なくするためφ1.0以上の太い線で最短距離で接続してください。
(5)AC100V線は汎用入出力、制御用端子の各入出力線およびエンコーダ信号線との束線や近接は避けてください。できれば100mm以上離してください。
(6)雷によるサージ対策として雷用バリスタの接続を行ってください。この時雷用サージアブゾーバの接地とコントローラの接地とは分離して行ってください。

取付けについて

アクチュエータ

(1)すべり軸受けタイプは樹脂製の軸受けで支持されていますので、ワーク取付けの際、強い衝撃や過大なモーメントを与えないよう特に注意して下さい。
(2)取り付け時には、ボディ本体側に設けてある基準面または、底面に設けてあるピン穴を使用しますと位置決めができますのでご利用下さい。
(3)取付け時には、配線のとりまわし等を充分考慮して下さい。無理なとりまわしは、断線等の原因となり誤動作を招く恐れがあります。
(4)取付け状態は水平としてください。

コントローラ

(1)通風をよくするため、コントローラの各側面と構造物や部品とは80mm以上の距離を設けて下さい。
(2)コントローラの取付け面に凹凸や歪みがあると、フレームやケースに無理な力が加わり不具合の原因となりますので、平らな面に取付けて下さい。
(3)大型の電磁接触器やノーヒューズ遮断機などの震動源との同居を避けて別パネルにするか、または離して取付けて下さい。
(4)コントローラ上面は設置後のコネクタ挿抜を可能とする構造としてください。
(5)コントローラ上面はコントローラに接続されるケーブルの最小曲げ半径を考慮してケーブルの曲げによりコネクタ取付基部に無理なストレスの掛からぬようにしてください。

接地について

(1)コントローラのノイズ耐性を確保するため接地は必ず施して下さい。
(2)接地はできるだけ専用接地として下さい。接地工事は第3種接地です。(接地抵抗100Ω以下)
(3)接地用の電線は2mm^2　以上を使用して下さい。接地はできるだけコントローラの近くとし、接地線の距離を短くして下さい。
(4)万一接地により誤動作するような事がある場合は、接地と切り離して下さい。

使用上のご注意

アクチュエータ

(1) 正しくお使い頂くために取扱説明書は必ずお読み下さい。
(2) 取扱説明書に記載されている以外の取扱及び使用／操作方法は原則として禁止します。
(3) 本アクチュエータは許容範囲内で直接荷重をかけて使用することができますが、外部に支持機構を持つ負荷との接続には、充分な芯だし作業が必要です。
(4) 切粉、粉塵および切削油（水、液体）等のかかる雰囲気でのご使用時は、カバー等を設置して下さい。
(5) ケーブルは固定して使用ください。また、アクチュエータからのケーブル取り出し部では、鋭角的にケーブルを屈曲させることはさけてください。その際、ケーブルが容易に動かないようご注意ください。
(6) 垂直での使用はできません。
また、水平以外での使用についてはご連絡ください。

コントローラ

(1) 正しくお使い頂くために取扱説明書は必ずお読みください。
(2) 取扱説明書に記載されている以外の取扱及び使用／操作方法は原則として禁止します。
(3) コントローラとアクチュエータの接続ケーブルは分解／改造を行わないでください。
(4) コントローラの電源が投入されている状態でアクチュエータおよびコントローラに接続されている他の機器の動作範囲に立ち入らないでください。
(5) 調整、設置は必ずコントローラの電源供給を停止して実施してください。